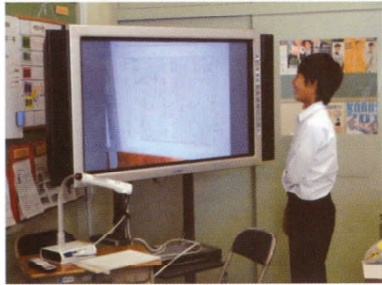


研究の概要



研究主題

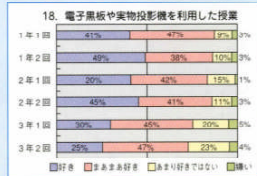
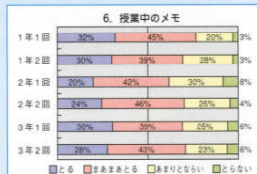
学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりの工夫・改善 — 確かな学力を目指したICT機器の活用 —

仮説

授業の指導法を工夫・改善し、ICT機器を活用して楽しく学び、わかる授業を実践することによって、基礎基本が定着し、学習に対する興味・関心を大きく高めることができるであろう。

調査研究部

生徒の生活状況と学習に対する意欲・関心について、その実態を2回に分けて調査し、授業づくりの工夫・改善によってどのような変容が見られたか考察する。



ICT活用研究部

各教科・領域において、電子黒板等ICTを活用した授業の実践を推し進め、実践事例の蓄積を行うと共に、ICT機器の効果的な活用法をまとめいく。



学習意欲向上推進部

各教科ごとに「確かな学力」を身につけさせるためにどのような手立てが必要かについて考察し、生徒が主体的に課題を解決しようとする授業の構築を目指す。



特別支援教育部

テーマ

「できる」がわかる授業づくり

各授業や活動において、生徒一人一人の特性に応じた学習課題を設定する。そのことにより、「今日はここまでできた」、「次は〇〇をがんばる」などを理解し、目標を持つことにより、意欲的・主体的に取り組む態度や基本的な学習力等の向上を図る。



教科会

国語 自分の考えや思いを豊かに表現できる生徒の育成

数学 数学好きな生徒の育成をはかるための授業の工夫・改善

英語 活用力を身に付けるための工夫

美術 作る楽しさ、完成させる喜びを味わえる授業づくり

保健体育 自主的・自発的な体育授業の展開と体力向上のための授業内容の工夫と改善

社会 よくわかる授業づくりの工夫・改善

理科 理科の楽しさ、わかる喜びを体感できる授業づくりの工夫・改善

音楽 生徒が心の動きを実感できる授業展開の工夫

技術・家庭 自分の思いを伝え、生活力を養う授業の工夫と実践



あいさつ

さいたま市教育委員会
教育長 桐淵 博

さいたま市立原山中学校が、平成21・22年度の2年間にわたり、さいたま市教育委員会委嘱の「基礎学力定着」、「情報教育」及び「特別支援教育」研究指定校として、「学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりの工夫・改善」を研究主題に、全校をあげて研究に取り組み、その成果をここに発表されますことに敬意を表しますとともに、心よりお喜び申し上げます。

原山中学校は研究を進めるにあたり、「確かな学力を目指したICT機器の活用」を副題とし、全教科の授業において電子黒板や校内LAN等を効果的に活用するなど、指導法を工夫改善し、研究を深めてこられました。

その成果として、「実験・操作活動が楽しく、学習意欲がわいた」「ICT機器を使った授業は理解しやすい」といった生徒の声が聞かれるなど、生徒一人ひとりの興味・関心を高めることができ、学習に対する理解を深め、基礎学力の定着につながる多くの成果が見られたと伺っております。

教育委員会では、「さいたま市学校教育ビジョン」の具現化を目指し、様々な施策を展開しております。中でも「校内LANの整備」は、知育の総合振興策「学びの向うさいたまプラン」の施策の一つとして位置付けているものであり、ICT機器の効果的な活用を通して基礎学力の定着を図る原山中学校の取組は、たいへん意義深いものであると考えます。

各学校におかれましては、原山中学校の研究成果を生徒や地域等の実態に応じて生かし、教育活動の一層の充実と改善に努めていただきますことを心から期待しております。

結びに、本研究に積極的に取り組んでこられました松下道夫校長先生をはじめとした教職員の皆様、本研究を御支援くださいました保護者・地域の皆様にご心より感謝を申し上げます、あいさつといたします。



あいさつ

さいたま市立原山中学校
校長 松下 道夫

本校では、平成21・22年度の2年間、さいたま市教育委員会より基礎学力定着・情報教育・特別支援教育の研究委嘱を受け、「学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりの工夫・改善」を研究主題に全校をあげて研究に取り組んでまいりました。

市や国の学習状況調査などから見ると本校生徒は「朝食を毎日食べている」「学校に持って行くものを前日か、その日の朝に確かめる」などの基本的学習習慣は概ね良好であり、各教科の平均正答率を見てもいずれも上回っております。

一方、本研究の事前アンケートでは、「自分で課題を見出し、根拠に基づいて表現すること」や「自分の意見を主体的に発表する学習」には消極的であるという傾向が見られました。また電子黒板や実物投影機を使った授業では、生徒の関心や意欲はたいへん高いものがあることが分かりました。実際8割の生徒が「インターネットで調べるとは好き」と答え、7割の生徒が「ICT機器等を活用して発表してみたい」と答えています。そこで校内LAN及び周辺機器が平成20年度に整備されたことを機会に「確かな学力を目指したICT機器の活用」をサブテーマにし、本研究テーマを設定した次第です。

研究推進にあたっては従来からの研究方針であります教科ごとの授業研究を基礎におき、1年次の第3学期に国からも調査研究校の指定を受け、普通教室すべてに「電子黒板」が整備されました。2年次には「研究推進委員会」を中心にして「学習意欲向上推進部、調査研究部、ICT活用研究部、特別支援教育部」の4つの部会を設け、教科の枠を超えて教職員相互に指導法改善について情報交換できるようにしました。生徒からは「電子黒板は大切なところが大大きく拡大されるので、わかりやすい」「ICT機器を使った授業は楽しい」など、興味・関心を高める成果が見られるようになりました。今後は、これらの声をより一層基礎学力の定着に結び付けていくようにしたいと思います。

2年間のまとめとしての発表ではありますが、研究を深めるべき課題はまだ数多く残されております。皆様方から頂いたご意見を真摯に受け止め、新たな課題に向けて教職員が一丸となって取り組んでいく所存です。

結びに、本研究推進にあたりご指導いただきましたさいたま市教育委員会の先生方、ご支援いただきました保護者・地域の皆様にご心より感謝申し上げます、あいさつといたします。

研究の成果と課題

● 成果

(1) ICT機器活用の重要性

「確かな学力」の定着を図る指導は、計画的・継続的に行われなければならないことが挙げられる。その際、当研究を通しての成果として、生徒の発達段階に応じた計画的指導を行っていくことが、生徒の学習意欲向上につながる事が分かった。更に、生徒が主体的に課題を発見し、自ら「わかる喜び」を味わえる学習活動を行うためには、ICT機器を活用することで「視覚的に訴えるわかりやすさ」、「授業内容の明確化」の二点を、飛躍的に発展させることができ、大変効果的であるということも明らかになった。その意味でも、教科書教材を出発点とした学習指導の中で、効果的にICT機器を取り入れることで、生徒達は主体的に授業に参加できる場面が多くなり、「確かな学力」の定着へとつながっていくものと考察される。

(2) 「表現し、伝え合う力」の重要性

次に、「学ぶ楽しさ、わかる喜び」を実感できる授業づくりを行う上で、他者とのコミュニケーションが重要であるということが今回の研究で明らかになった。他者と語り合い、相互評価を行うことで、自らの「わかったこと」を理解し、そのことが次の課題設定へとつながっていくと考察されるからである。今後は教科間の連携を更に強めつつ、ICT機器も効果的に活用しながら、自己表現力の育成を図っていきたいと考える。

▲ 課題

(1) 指導の計画性

「確かな学力」を高めるための指導は、授業の中で、長期的な見通しを持って行う必要がある。それは単発的な実践だけでは、その時間内での学習者の興味・関心のみを惹くことができても、恒常的な学習習慣への意欲にはつながらないからである。そのためにも学校・教科全体で取り組む長期的な指導計画と、個々の生徒に対する学習状況に応じた柔軟な姿勢が必要であると考える。

(2) 教材の設定

「学ぶ楽しさ、わかる喜び」を実感させ、次への学習意欲を高めるためには、色々な場面における教材の設定があることがわかった。しかし、教材は、「その教材にどのような学びの効果があるか」、「学習者の現状を捉えたものであるか」、「学習の目的に適した教材か」等をしっかりと見極めたものではないと、生徒の学習意欲を高める効果も十分高まるものにはつながらないという懸念が生じる。また、その教材研究を充実させるための時間の確保や教科会の設定等、難しい現状もある。

ご指導いただいた先生方

平成22年度

Table listing staff members for the 2020-2021 fiscal year, including subject names and names of supervisors and research assistants.

平成21年度(指導時)

萩原 哲哉(主任指導主事)・冨田 英雄(主任指導主事兼係長)・遠藤 浩之(主任指導主事)

研究に携わった本校職員

平成22年度

Table listing staff members who participated in the research for the 2020-2021 fiscal year, categorized by department and role.

平成21年度

Table listing staff members who participated in the research for the 2019-2020 fiscal year, categorized by department and role.

平成22年度研究紀要

平成21・22年度 さいたま市教育委員会研究委嘱(研究指定) 「基礎学力定着・情報教育・特別支援教育」研究発表会



「学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる 授業づくりの工夫・改善」

— 確かな学力を目指したICT機器の活用 —

研究構想図

学校教育目標 抱け・輝け・拓け



確かな学力とは、生徒が主体的に課題を発見し、解決しようとする学習意欲向上の基盤となるものである!

確かな学力

研究主題

学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できる授業づくりの工夫・改善

各教科

調査研究部

ICT活用研究部

学習意欲向上推進部 (教科主任会)

特別支援教育研究部



さいたま市立原山中学校

TEL:048-882-3192 FAX:048-811-1338
〒336-0922 さいたま市緑区太田窪1-10-22
Eメール harayama-j@saitama-city.ed.jp